

クラピア植栽穴シールド工法 認定施工店制度

1. 制度概要

◆クラピア植栽穴シールド工法 認定施工店制度とは

クラピアは、優れた被覆力・省管理性・景観性を兼ね備えたグラウンドカバープラントです。しかし、近年クラピアの知識や施工ノウハウを持たない施工会社による誤った施工が散見され、生育不良や雑草抑制効果の不足など、本来得られるべき性能が発揮されない事例が見られます。

株式会社グリーンプロデュースでは、発注者の皆さまに安心して施工を依頼いただくため、「クラピア植栽穴シールド工法 認定施工店制度」を設けています。

本制度は、公式研修を受講し、技術基準を満たした施工店のみが、クラピア植栽穴シールド工法の施工を行える仕組みです。

◆制度の目的

- クラピアの性能を最大限に発揮するための施工品質の統一
- 発注者が安心して依頼できる施工体制の構築
- クラピア植栽穴シールド工法の信頼性向上

◆認定施工店のメリット

- 認定証付与
- クラピア植栽穴シールド工法の施工許諾
- 施工品質の安定化によるクレーム減少

◆認定取得の流れ

1. 「クラピア植栽穴シールド工法研修申込書」を当社に送付
2. 研修費用前払い
3. 座学研修（半日）受講
4. 実地研修（半日）受講
5. 認定試験（筆記+実技）
6. 認定証発行・施工許諾開始

◆認定施工店になる為の条件

必須条件

1. 法人組織であること
2. (株)グリーンプロデュースが実施する有料研修を受講すること
3. 認定試験（筆記・実技）に合格すること
4. (株)グリーンプロデュースの施工基準書・品質基準へ同意いただくこと

◆推奨条件

1. 造園・土木工事業の許可

2. 過去のクラピア植栽工事経験
3. 過去のクラピア維持管理経験

2. 研修案内

認定施工店研修（有料）について

◆研修の目的

クラピア植栽穴シールド工法を正しく施工するために必要な、事前除草・シート敷設・植栽・灌水管理・初期管理・年間管理の全工程を体系的に習得していただきます。

◆研修内容（カリキュラム）

① 座学研修（午前半日）

- ・クラピアの基礎知識
- ・クラピア植栽穴シールド工法の実際
- ・植栽穴シールド工法施工後の年間管理目安（1年間の契約不適合責任対応を念頭に）

② 実地研修（午後半日）

- ・事前除草
- ・クラピアマルチシート敷設実技
- ・クラピア植栽実技
- ・施工後の管理

③ 認定試験（筆記+実技）

◆研修の頻度

研修の開催頻度は年1～2回を予定。第1回研修は2026年6月に開催予定です。

開催予定日は www.greenproduce.co.jp のお知らせ欄に掲載予定ですのでご参照ください。

◆研修開催場所

栃木県小山市近郊

※開催場所の詳細は開催予定日と合わせて当社ホームページお知らせ欄に掲載予定です。

3. 研修費用 *申し込み後、研修日以前にお振込みをお願いします。

○振込先：足利銀行小山東支店 普通5507095

カブシキガイシャグリーンプロデュース

◆項目	費用（税別）
・座学、実地研修1日	10万円／1人
・認定試験料	2万円／1人
・年会費（初年度免除）	2万円／1人

- * 認定取得 1 年経過後は 1 年毎の年会費の支払いをもって認定証は更新されます。
- * 年会費の支払いが無い場合、認定は取り消されます。
- * 認定が取り消された場合でも新たに研修を受ければ認定取得可能です。

◆認定後に付与されるもの

- 認定施工店証
- 施工マニュアル（非公開資料）

◆申込方法

当社ホームページ内「資料ダウンロードページ」より「クラピア植栽穴シールド工法研修申込書」をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上で当社にお送りください。

1. 資料ダウンロードページ：<https://www.greenproduce.co.jp/document/>
2. お申込書は①②いずれかの方法でお送りください
 - ①当社お問合せフォームより送信：<https://www.greenproduce.co.jp/contact/>
 - ②FAX送信：0285-37-8873

4. その他

◆認定施工店一覧

後日公開予定

◆認定施工店の基準

- (株)グリーンプロデュースの公式研修を修了
- 認定試験に合格
- 有効な認定証を保有
- 施工基準書に基づく施工を実施
- 実施工現場でのランダムな検査。基準を満たしていない場合は認定取り消しもあります。

◆認定施工店への依頼を推奨する理由

- 期待する施工品質が得られる
- 生育不良リスクが低減
- クラピア植栽穴シールド工法の性能（被覆速度・雑草抑制）が最大限発揮される

◆認定の有効期間

認定証の有効期間は発行日から 1 年間。以降年会費の支払いを以て 1 年毎に更新可能。

◆施工可能エリア

施工可能エリアは北海道及び標高 1,000m を超える地域を除く全域